

独自機能 (Z690 シリーズ)

| | |
|--------------------------------------|----|
| BIOS 更新ユーティリティ..... | 2 |
| 1-1 Q-Flash ユーティリティで BIOS を更新する..... | 2 |
| 1-2 @BIOS ユーティリティで BIOS を更新する..... | 5 |
| 1-3 Q-Flash Plus を使用する..... | 6 |
| APP Center | 7 |
| 2-1 EasyTune..... | 9 |
| 2-2 Fast Boot | 10 |
| 2-3 RGB Fusion | 11 |
| 2-4 Smart Backup | 13 |
| 2-5 System Information Viewer..... | 15 |



マザーボードのモデルとOSバージョンによってソフトウェアサポートは異なる場合があります。ソフトウェアのセットアップメニューは参考用です。

BIOS 更新ユーティリティ

GIGABYTE マザーボードには、Q-Flash™ と @BIOS™ の 2 つの独自の BIOS 更新方法があります。GIGABYTE Q-Flash と @BIOS は使いやすく、MSDOS モードに入らずに BIOS を更新することができます。さらに、このマザーボードは DualBIOS™ 設計を採用し、Q-Flash Plus をサポートしており、お使いのコンピュータの安全性と安定性のために複数の保護を提供します。

DualBIOS™とは？

デュアル BIOS をサポートするマザーボードには、メイン BIOS とバックアップ BIOS の 2 つの BIOS が搭載されています。通常、システムはメイン BIOS で作動します。ただし、メイン BIOS が破損または損傷すると、バックアップ BIOS が次のシステム起動を引き継ぎ、通常にシステム操作を確保します。

Q-Flash Plus とは？

Q-Flash Plus では、システムの電源が切れているとき (S5シャットダウン状態) に BIOS を更新することができます。最新の BIOS を USB メモリに保存して専用ポートに接続すると、Q-Flash Plus ボタンを押すだけで自動的に BIOS を更新できます。

Q-Flash™ とは？

Q-Flashがあれば、MS-DOSやWindowのようなオペレーティングシステムに入らずにBIOSシステムを更新できます。BIOS に組み込まれた Q-Flash ツールにより、複雑な BIOS フラッシングプロセスを踏むといった煩わしさから開放されます。

@BIOS™ とは？

@BIOS により、Windows 環境に入っている間にシステム BIOS を更新することができます。@BIOS は一番近い @BIOS サーバーサイトから最新の @BIOS ファイルをダウンロードし、BIOS を更新します。

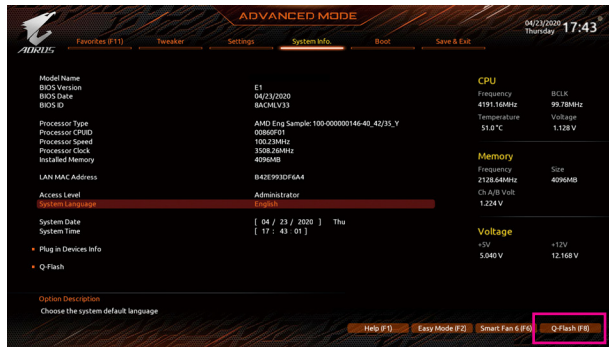
1-1 Q-Flash ユーティリティで BIOS を更新する

A. 始める前に

1. GIGABYTE の Web サイトから、マザーボードモデルに一致する最新の圧縮された BIOS 更新ファイルをダウンロードします。
2. ファイルを抽出し、新しい BIOS (Z690AORUSMASTER.F1など)をお使いのUSBフラッシュメモリまたはUSBハードドライブに保存します。注:USB フラッシュドライブまたはハードドライブは、FAT32/16/12 ファイルシステムを使用する必要があります。
3. システムを再起動します。POST の間、<End> キーを押して Q-Flash に入ります。注:POST時に <End> キーを押すか、BIOS Setup画面で**Q-Flash** アイコンをクリック(または<F8>キー)して Q-Flashにアクセスできます。ただし、BIOS更新ファイルがRAID/AHCIモードのハードドライブまたは独立したSATAコントローラーに接続されたハードドライブに保存された場合、POSTの間に<End>キーを使用してQ-Flashにアクセスします。



BIOS の更新は危険性を含んでいるため、注意して行ってください。BIOS の不適切な更新は、システムの誤動作の原因となります。



Q-Flash を選択してQ-Flash にアクセスできます。

B. BIOS を更新する

無英訳BIOSを更新しているとき、BIOS ファイルを保存する場所を選択します。次の手順は、BIOS ファイルをUSBフラッシュドライブに保存していることを前提としています。

ステップ 1:

1. BIOSファイルを含むUSBフラッシュドライブをコンピュータに挿入します。Q-Flashのメイン画面で、**Update BIOS** を選択してください。



- **Save BIOS** オプションにより、現在の BIOS ファイルを保存することができます。
- Q-Flash は FAT32/16/12 ファイルシステムを使用して、USB フラッシュメモリまたはハードドライブのみをサポートします。
- BIOS 更新ファイルが RAID/AHCI モードのハードドライブ、または独立したSATAコントローラーに接続されたハードドライブに保存されている場合、POST 中に <End> キーを使用して Q-Flash にアクセスします。

2. BIOS 更新ファイルを選択します。



BIOS 更新ファイルが、お使いのマザーボードモデルに一致していることを確認します。

ステップ 2:

画面は、USB フラッシュドライブから BIOS ファイルを読み込んでいる状態を示しています。**Fast** または **Intact** を選択して、BIOS 更新を開始します。その後、画面に更新プロセスが表示されます。



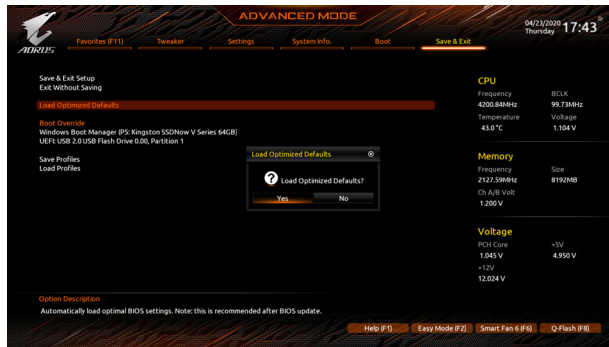
- BIOS アップデートの完全性を確保するために、システムは自動的にシャットダウンして再起動します。その後、Q-Flash で BIOS の更新処理を開始します。
- システムが BIOS を読み込み/更新を行っているとき、システムをオフにしたり再起動したりしないでください。
- システムが BIOS を更新しているとき、USB フラッシュドライブまたはハードドライブを取り外さないでください。

ステップ 3:

更新処理が完了後、システムは再起動します。

ステップ 4:

POST 中に、<Delete> キーを押して BIOS セットアップに入ります。**Save & Exit** 画面で **Load Optimized Defaults** を選択し、<Enter>を押して BIOS デフォルトをロードします。BIOS が更新されるとシステムはすべての周辺装置を再検出するため、BIOS デフォルトを再ロードすることをお勧めします。



Yes を選択して BIOS デフォルトをロードします

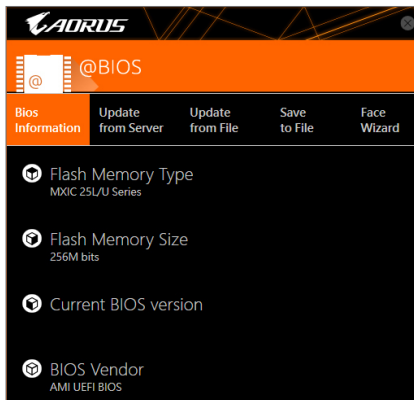
ステップ 5:

Save & Exit Setup を選択し、<Enter>を押します。**Yes** を選択して CMOS に設定を保存し、BIOS セットアップを終了します。システムの再起動後に手順が完了します。

1-2 @BIOS ユーティリティで BIOS を更新する

A. 始める前に

1. Windows で、すべてのアプリケーションと TSR (メモリ常驻型)プログラムを閉じます。これにより、BIOS 更新を実行しているとき、予期せぬエラーを防ぎます。
2. BIOS がインターネット経由で更新される場合、インターネット接続が安定しており、インターネット接続が中断されないことを確認してください (たとえば、停電やインターネットのスイッチオフを避ける)。そうしないと、BIOS が破損したり、システムが起動できないといった結果を招きます。
3. 不適切な BIOS 更新に起因する BIOS 損傷またはシステム障害はGIGABYTE 製品の保証の対象外です。



B. @BIOSを使用する

1. インターネット更新機能を使用して BIOS を更新する:



Update from Server をクリックし、一番近い @BIOS サーバーを選択して、お使いのマザーボードモデルに一致する BIOS ファイルをダウンロードします。オンスクリーンの指示に従って完了してください。



マザーボードの BIOS 更新ファイルが @BIOS サーバーサイトに存在しない場合、GIGABYTE の Web サイトから BIOS 更新ファイルを手動でダウンロードし、以下の「インターネット更新機能を使用して BIOS を更新する」の指示に従ってください。

2. インターネット更新機能を使用せずに BIOS を更新する:



Update from File をクリックし、インターネットからまたは他のソースを通して取得した BIOS 更新ファイルの保存場所を選択します。オンスクリーンの指示に従って完了してください。

3. 現在の BIOS をファイルに保存:



Save to File をクリックして、現在の BIOS ファイルを保存します。

4. 起動ロゴの変更



フェイスウィザードで **Upload new image** をクリックすると、起動ロゴを自分独自の写真に変更して個人用起動画面を作成することができます。現在使用中の起動ロゴを保存するには、**Backup current image (現在の画像のバックアップ)** をクリックします。



サポートする画像形式は jpg、bmp、および gif などです。

C. BIOS を更新した後

BIOS を更新した後、システムを再起動してください。



- ・更新する BIOS ファイルがお使いのマザーボードモデルに一致していることを確認します。間違った BIOS ファイルで BIOS を更新すると、システムは起動しません。
- ・BIOS 更新処理時にシステムの電源をオフにしたり、電源を抜かないでください。さもないと BIOS が破損し、システムが起動しない恐れがあります。

1-3 Q-Flash Plus を使用する

A. 始める前に

1. GIGABYTE の Web サイトから、マザーボードモデルに一致する最新の圧縮された BIOS 更新ファイルをダウンロードします。
2. ダウンロードした BIOS ファイルを解凍し、USB フラッシュドライブに保存して、名前を **GIGABYTE.bin** に変更します。(注: USB フラッシュドライブは、FAT32 ファイルシステムを使用する必要があります。)
3. 電源ケーブルを 12V 補助電源コネクタ (2つある場合はどちらか一方に接続) とメイン電源コネクタに接続します。
4. USB フラッシュドライブを背面パネルの Q-Flash Plus ポートに接続する前に、電源ユニットの主電源をオンにしてください。

B. Q-Flash Plus の使用

Q-Flash Plus ボタンを押すと、システムは自動的に Q-Flash Plus ポートの USB フラッシュドライブの BIOS ファイルを検索して一致させます。QFLED と背面パネルの Q-Flash Plus ボタンは、BIOS マッチングおよび更新プロセス中に点滅します。6 ~ 8 分間待機し、BIOS 更新が完了すると、LED は点滅を停止します。



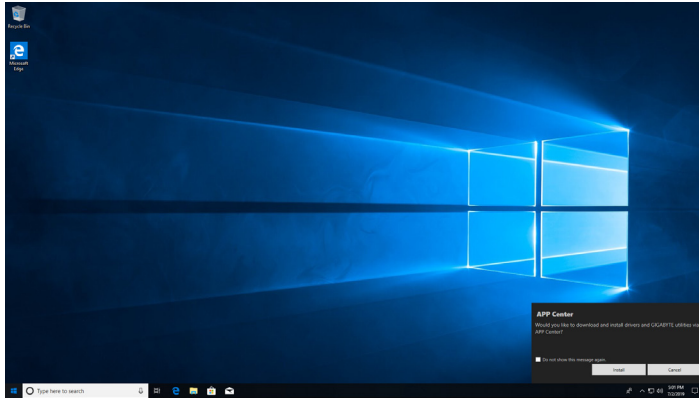
- BIOS を手動で更新する場合は、まずシステムがオフになっていることを確認してください (S5 シャットダウン状態)。
- マザーボードに BIOS スイッチと SB スイッチがある場合は、それらをデフォルト設定に戻してから実行してください。(BIOS スイッチのデフォルト設定: メイン BIOS からの起動、SB スイッチのデフォルト設定: デュアル BIOS 有効)
- DualBIOS™ を搭載したマザーボードでは、メイン BIOS の更新が終わった後、システムが再起動した後にバックアップ BIOS が更新されます。完了後、システムが再起動し、通常動作の場合、メイン BIOS から起動します。

APP Center

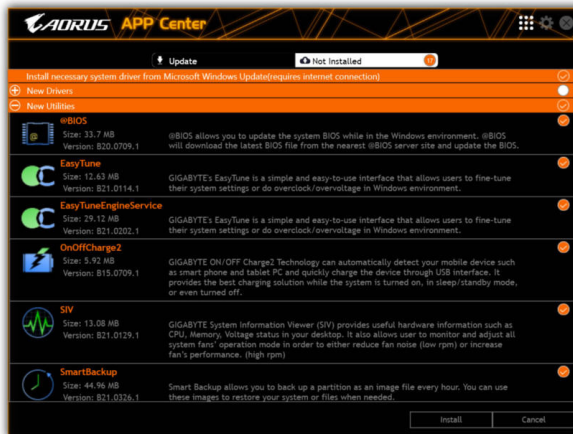
GIGABYTE App Center により、豊富な GIGABYTE アプリにアクセスしやすくなり、GIGABYTE マザーボードを最大限利用できるようになります^(注)。シンプルで統一されたインターフェイスを用いた GIGABYTE App Center により、お使いのシステムにインストールされたすべての GIGABYTE アプリを簡単に起動し、オンラインで関連アップデートを確認するとともに、アプリ、ドライバ、および BIOS をダウンロードできます。

ドライバのインストール

オペレーティング・システムをインストールした後、APP Center 経由でドライバと GIGABYTE アプリケーションをダウンロードしてインストールするかどうかを尋ねる、ダイアログボックスがデスクトップの右下隅に表示されます。Install をクリックしてインストールを続行します。(BIOS 設定画面で、Settings\IO Ports\APP Center Download & Install Configuration\APP Center Download & Install が有効に設定されていることを確認してください。)




End User License Agreement (使用許諾契約書)ダイアログボックスが表示されたら、<Accept (同意する)> を押して APP Center をインストールします。APP Center 画面で、インストールしたいドライバとアプリケーションを選択して Install をクリックしてください。



インストールの前に、システムがインターネットに接続されていることを確認してください。

(注) App Center で使用可能なアプリケーションは、マザーボードのモデルによって異なります。各アプリケーションのサポート機能もマザーボードのモデルによって異なります。

APP Center の実行

デスクトップモードで、通知画面の App Center アイコン  をクリックして App Center ユーティリティを起動します(図 1)。メインメニューでは、実行するアプリを選択したり、LiveUpdate をクリックしてアプリをオンラインで更新できます。

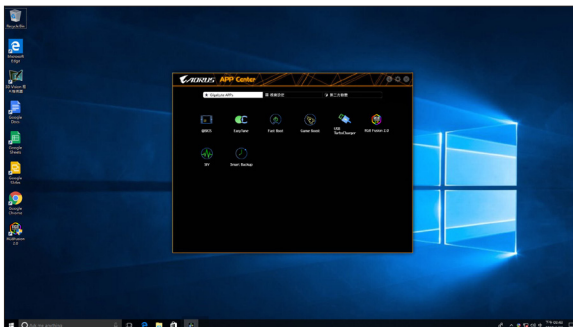


図 1

App Center が閉じている場合は、スタートメニューで Launch App Center をクリックすると再起動できます(図 2)。

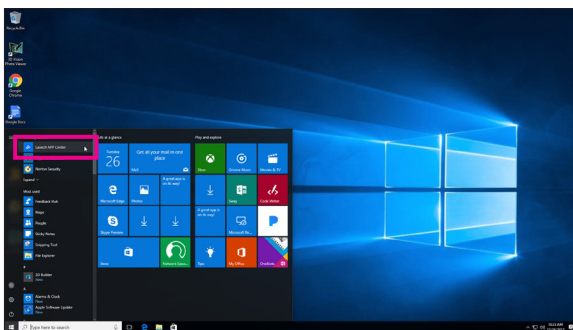
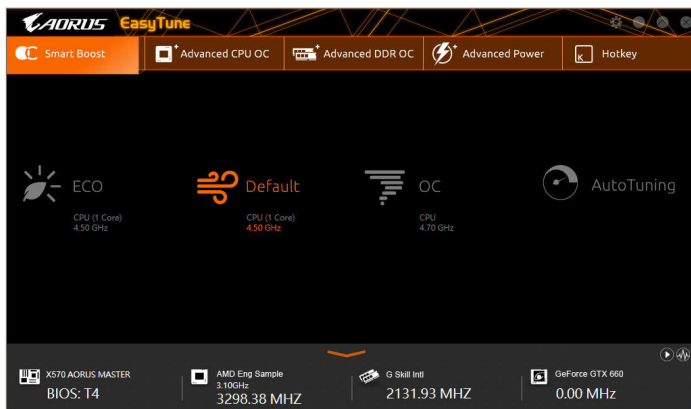


図 2






2-1 EasyTune

GIGABYTE の EasyTune はシンプルな使いやすいインターフェイスで、Windows 環境でシステム設定の微調整やオーバークロック/過電圧が行えます。

EasyTune のインターフェイス



タブ情報

| タブ | 説明 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  Smart Boost | Smart Boost タブでは、希望するシステムパフォーマンスを達成できるように、各種レベルの CPU 周波数を備えています。変更を行ったら、変更を有効にするために必ずシステムを再起動してください。 |
|  Advanced CPU OC | Advanced CPU OC タブでは、CPU ベースクロック、周波数、電圧、統合されたグラフィック周波数を設定できます。現在の設定をプロファイルに保存できます。最大 2 つのプロファイルを作成できます。 |
|  Advanced DDR OC | Advanced DDR OC タブでは、メモリクロックを設定できます。 |
|  Advanced Power | Advanced Power (アドバンストパワー) タブを用いることで、電圧を調整することができます。 |
|  Hotkey | HotKey (ホットキー) タブを用いることで、プロファイルに対するキーを設定することができます。 |



EasyTune で利用可能な機能は、マザーボードモデルおよび CPU によって異なります。淡色表示になったエリアは、アイテムが設定できないか、機能のサポートされていないことを示しています。

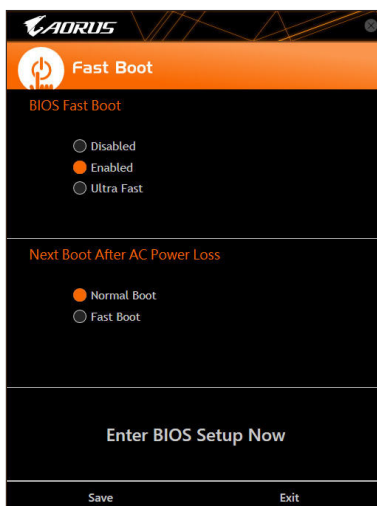


オーバークロック/過電圧を間違って実行すると、CPU、チップセット、またはメモリなどのハードウェアコンポーネントが損傷し、これらのコンポーネントの耐用年数が短くなる原因となります。オーバークロック/過電圧を実行する前に、EasyTune の各機能を完全に理解していることを確認してください。そうでないと、システムが不安定になったり、その他の予期せぬ結果が発生する可能性があります。

2-2 Fast Boot

シンプルな GIGABYTE Fast Boot インターフェイスを介して、オペレーティングシステムにある **Fast Boot** 設定または **Next Boot After AC Power Loss** 設定を有効にしたり、変更することができます。

Fast Boot インターフェイス



Fast Boot を使用する

- **BIOS Fast Boot:**
このオプションは、BIOS のセットアップにある **Fast Boot** オプション^(注)と同じです。OS の起動時間を短縮する高速ブート機能を有効または無効にすることができます。
- **Next Boot After AC Power Loss**
このオプションは、BIOS セットアップにある **Next Boot After AC Power Loss** オプション^(注)と同じです。AC 電源喪失が返されたときにシステム起動モードを選択できるようになります。(このモードは、BIOS Fast Boot の設定が **Enabled** または **Ultra Fast** のときのみ設定できます。)

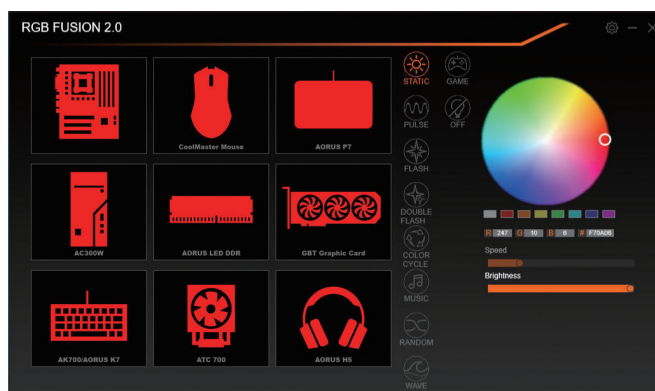
設定を行ったら、**Save**をクリックして保存し、**Exit**をクリックします。設定は次回起動時に有効になります。**Enter BIOS Setup Now** ボタンをクリックすると、システムが再起動し、ただちに BIOS セットアップに入ります。

(注) この機能の詳細については、第 2 章「BIOS セットアップ」を参照してください。

2-3 RGB Fusion

このアプリケーションでは、Windows環境で選択デバイス^(注1)のライティングモードを有効または指定することができます。

RGB Fusion インターフェイス



RGB Fusion 使用方法

- 右上部にある**アイコン**:モバイルデバイスにインストールされたGIGABYTE RGB Fusionアプリとお使いのコンピューターに接続します^(注2)
- 目的のデバイスのアイコンをクリックし、画面の右側のセクションでLEDの色/照明動作を選択します。

| | |
|--------------|------------------------------|
| Static | 全LEDが単色で点灯します。 |
| Pulse | 全LEDが同時に息のようにゆっくりと滑らかに点滅します。 |
| Flash | 全LEDが同時に点滅します。 |
| Double Flash | 全LEDがインターレースに点滅します。 |
| Color Cycle | 全LEDが同時全スペクトラム色でサイクルで点灯します。 |
| Music | 全LEDが同時に音楽出力と同期します。 |
| Random | 各LED領域がランダムで点滅します。 |
| Wave | LEDが全スペクトラム色でカスケードします。 |
| Game | 全LEDがあなたのゲームと同期します。 |
| Off | 全LEDを消灯させます。 |

(注1) RGB FusionはLED照明機能を持つデバイスを自動的に検索し、リストに表示します。

(注2) App StoreまたはGoogle PlayからGIGABYTE RGB Fusionアプリをダウンロードしてください。



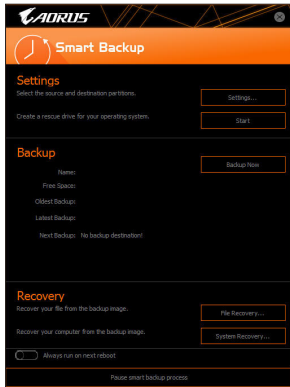
- マザーボードとデジタルLEDストリップのLEDを制御するオプション。さらに設定するには、マザーボードのアイコンをクリックします。^(注)
希望の領域を選択し、画面の右側のセクションでLEDの色/照明の動作を選択します。

| | |
|------------------|-------------------------------------------|
| Static | 選択された領域のLEDが単色で点灯します。 |
| Pulse | 選択された領域のLEDが同時に息のようにゆっくりと滑らかに点滅します。 |
| Flash | 選択された領域のLEDが同時に点滅します。 |
| Double Flash | 全LEDがインターレースに点滅します。 |
| Color Cycle | 全LEDが同時全スペクトラム色でサイクルで点灯します。 |
| Digital Wave | Armor LEDが全スペクトラム色でカスケードします。 |
| Digital A-I Mode | Armor LEDおよびLEDテープを通して複数のデジタル照明モードを提供します。 |
| Off | 選択された領域のLEDが消灯します。 |

(注) 領域/モード/色数などはマザーボードの型番によって異なります。

2-4 Smart Backup

Smart Backupにより、画像ファイルとしてパーティションを1時間ごとバックアップできます。これらの画像を使用して、必要ときにシステムやファイルを復元できます。



Smart Backupメインメニュー：

| ボタン | 説明 |
|--------------------|-----------------------|
| Settings | ソースと宛先パーティションを選択します |
| スタート | レスキュードライブを作成することができます |
| Backup Now | 今すぐ、バックアップを実行できます |
| File Recovery... | バックアップ画像からファイルを回復できます |
| System Recovery... | バックアップ画像からシステムを回復できます |



- Smart BackupはNTFSファイルシステムのみをサポートします。
- Smart Backupを初めて使用するとき、宛先パーティション **Settings** を選択する必要があります。
- **Backup Now** ボタンは 10 分間 Windows にログインした後のみ利用可能です。
- **Always run on next reboot** チェックボックスを選択すると、システム再起動後に Smart Backup が自動的に有効になります。

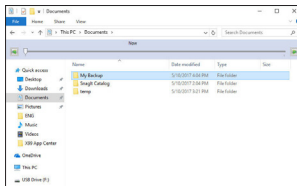


バックアップを作成する：

メインメニューで **Settings** ボタンをクリックします。**Settings** ダイアログボックスで、ソースパーティションと宛先パーティションを選択し、**OK** をクリックします。最初のバックアップは10分後に開始され、定期的バックアップが1時間ごとに行われます。注：既定値で、システムドライブのすべてのパーティションはバックアップソースとして選択されます。バックアップ宛先をバックアップソースと同じパーティションに置くことはできません。

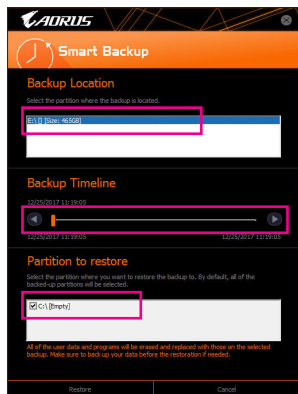
バックアップをネットワークの場所に保存する：

バックアップをネットワークの場所に保存するには、**Browse network location** を選択します。必ずお使いのコンピューターとバックアップを保存するコンピューターが同じドメインにあるようにします。バックアップを格納し、ユーザー名とパスワードを入力するネットワークの場所を選択します。オンスクリーンの指示に従って完了してください。



ファイルを回復する：

メインメニューで **File Recovery** ボタンをクリックします。ポップアップ表示されたウィンドウ上部のタイムスライダーを使用して前のバックアップ時間を選択します。右ペインには、バックアップ宛先のバックアップされたパーティションが (**My Backup** フォルダに)表示されます。希望のファイルを閲覧してコピーします。



Smart Backupでシステムを回復します：

ステップ：

1. メインメニューで **System Recovery** ボタンをクリックします。
2. バックアップを保存する場所を選択します。
3. 時間スライダを使用してタイムポイントを選択します。
4. 選択したタイムポイントで作成したパーティションバックアップを選択し、**Restore** をクリックします。
5. システムを再起動して、今すぐ復元を進めるかまたは後で復元を進めるかを確認します。「はい」と答えると、システムは再起動してWindows回復環境に戻ります。オンスクリーンの指示に従ってシステムを回復します。

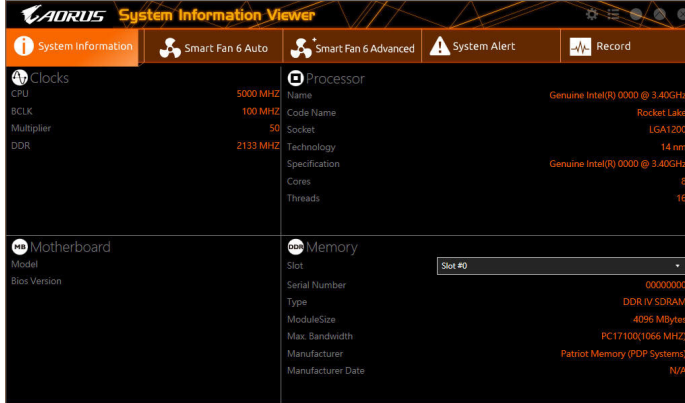


ファイルとプログラムがすべて削除され、選択したバックアップに置き換えられます。必要に応じて、復元前にデータのコピーを必ず作成してください。




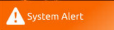



2-5 System Information Viewer

GIGABYTE System Information Viewerでは、オペレーティングシステムでファン速度を監視し、調節できます。常時システム状態を表示するために、デスクトップ上にハードウェア監視情報を表示することもできます。

System Information Viewerのインターフェイス



タブ情報

| タブ | 説明 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  System Information | System Information タブでは、取り付けられた CPU、マザーボード、および BIOS パージョンに関する情報が得られます。 |
|  Smart Fan 6 Auto | Smart Fan 6 Auto タブでは、スマートファンモードを指定します。 |
|  Smart Fan 6 Advanced | Smart Fan 6 Advanced タブでは、スマートファンの速度を調整できます。ファンは、システム温度によって異なる速度で動作します。Smart Fan オプションを使用すると、ファンの作業負荷をシステム温度によって調整したり、RPM Fixed Mode オプションを使用してファン速度を固定することができます。Calibrate ボタンをクリックすると、校正後のファンの作業負荷全体に関するファン速度が表示されます。Reset ボタンを使用すると、ファン設定を前回保存時の値に戻すことができます。🔊 ノイズ検出は、シャーシ内部のノイズレベル (デシベル単位) を検出します。 |
|  System Alert | System Alert タブでは、ハードウェアの温度、電圧およびファン速度を監視するとともに、温度/ファン速度アラームを設定します。  では、クイックモードで表示する情報を選択できます (デフォルトでは、すべてのハードウェア情報が表示されます);  により、アラート通知を有効にすることができ、選択後に Apply をクリックします。 |
|  Record | Record タブでは、システムの電圧、温度、ファン速度、ノイズの変化を記録できます。記録処理中に Record タブを出ると記録が停止することに注意してください。 |



- 速度コントロール機能を有効にするには、ファン速度コントロール設計のファンを使用する必要があります。
- ノイズ検出機能を使用するには、ノイズ検出ヘッダ付きのマザーボードが必要です。